



第51号

2024.10月発行

〈発行〉
山形市子ども会
育成連合会
〈事務局〉
〒990-0047
山形市旅籠町2-3-25
山形市教育委員会
社会教育青少年課内
編集／文化部
印刷／(株)大風印刷



山形市子ども会育成連合会 会長 佐藤博之



常日頃より子どもたちの健全育成にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、夏の競技大会第八回かけっこリレー駅伝大会が児童一五〇名参加のもと開催されました。大変暑い中ではありますが皆様のご協力のおかげで無事に事故もなく終了いたしました。関係各位に感謝申し上げます。夏も過ぎ、各学区でも事業が活発な時期となりました。山形市子連ではモルックの無料貸出を行っております。先日イブニングロータリークラブ様よりモルック十セットを寄贈していただきました。現在モルック本体は十五セットあります。また体育館内で使用する際には人工芝も準備しております。各学区、町区の子ども会活動などでぜひご利用ください。

今回は全国子ども会連合会の動きをご紹介いたします。令和四年十月十八日に「子どもの体験活動による成長・子育てを支援・推進する議員連盟」が発足しました。現在は一四一名の国会議員が参加しており「子ども会」をはじめとした、子どもの体験活動を通じて地域の人々の生涯学習、居場所づくり、地域づくりに貢献する地域活動・地域コミュニティの活性化を図り、全ての子どもが身体的・精神的・社会的に将来に渡って幸せな状態(ウェルビーイング)で健や

かに成長することができるよう施策を講じています。そして令和五年十二月七日には当時の盛山文科大臣宛に「子どもの体験活動(子ども会活動等)を通じて、地域活動を活性化させるための要望書」を全子連の美田会長名で提出しております。またこども大綱(令和五年十二月二十二日閣議決定)における子ども会の位置づけについて抜粋 第三ことも施策に関する重要事項 二(二)居場所づくり 子どもの居場所を新たに一つづくっていくことに加え、すでに多くのこども・若者の居場所となっている児童館、子ども会、こども食堂や学習支援の場など地域にある多様な居場所、公民館や図書館などの社会教育施設などについても、こども・若者にとつてより良い居場所となるように取組む。とあります。本年六月二十日には全子連美田会長に同行し私佐藤もこども家庭庁の加藤鮎子大臣へ訪問し提言書をお渡しして参りました。このように子ども会は今、大変活発に動いておりますことをご報告申し上げます次第です。

結びになりますが「子ども会」は、各地域において、子ども・保護者世代にとつて地域活動の入り口としての役割を果たしており、子ども・保護者世代を中心に、子どもの健全育成という明確な目的のもとで様々な異年齢・異世代の地域住民・地域のコミュニティの共感、協力を得ながら地域による運営・活動が行われている団体です。その可能性は町区の活動を始め学区、市子連の連携の中にあると考えております。子どもを核とした地域活性化を図る起爆剤として各学区、町区の発展と皆様の活躍をご祈念申し上げます。

事業内容

令和6年度

令和6年度定期総会
育成功労者表彰式(11日)
合同専門部会(21日)
令和6年度県子連定例総会(25日)

5月 第1回幹事会(7日)

6月 第1回常任委員会(25日)

7月 県リーダー研修会(27~28日)
東北地区ユニオンリーダー大会(2~4日)

8月 山形市子ども会育成連合会夏の競技大会
(第8回かけっこリレー・駅伝大会17日)

9月 県子連KYT研修会・理事会
リーダー研修会(5~6日)
第2回幹事会

10月 安全啓発初級指導者養成講習会(27日)

11月 「かがやく瞳」第51号発行
東北地区子ども会育成連絡協議会秋田大会(2~3日)
全子連中央会議・研究大会(16~18日)

12月 第2回山形市子ども会モルック大会(1日)

1月 中間監査・第3回幹事会
第2回常任委員会・新年会
県リーダー研修会

2月 KTY研修会・安全共済会
説明会

3月 県子連理事会
「かがやく瞳」第52号発行
第4回幹事会

4月 期末監査・第3回常任委員会



コロナ禍を乗り越えてきた これからの子ども会活動

山形市教育委員会 社会教育青少年課長 佐藤 哲也

山形市子ども会育成連合会の皆様方には、子どもたちの健やかな成長を見守り、創意工夫のある活動をされておられることに感謝と御礼を申し上げます。

さて、子ども会の活動は、同世代の仲間との横のつながりや異年齢の縦のつながりの活動や地域の祭り、清掃活動、交流会などの様々な豊かな体験により地域とのつながりを深めているとともに、子ども達のコミュニケーション能力を高め、自立した一人の人間として生きていくための力を養ってくれる大変重要な活動だと思えます。また、保護者も子ども会の活動を通して、子ども達とふれあい、絆を深めるだけでなく、地域の人とも関わり、一緒に成長できる貴重な機会となっているのではないのでしょうか。

しかし、近年子どもたちを取り巻く環境は、日々多様化し続けており、特にインターネットやスマートフォン等の普及により、子どもたちはSNS等を使うことで、いつでも誰とでも連絡を取ることができるようになりました。また、少子化や核家族化により、放課後の時間を自宅で一人で過ごす子どもたちも増え、人と人による直接的な経験よりもバーチャルな疑似体験やゲームなどが増えてきているように感じます。こうした状況にコロナ禍が加わり、子どもたち同士が直接交流する機会が少なくなり、仲間とのコミュニケーションが希薄になっていたと感じます。そして、昨年5月以降、新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが5類に移行してから、縮小されていた様々な活動や行事も再開されるようになり、ようやく仲間と交流できる活動の場が戻ってきたところです。

そんな時だからこそ、やはり大切なのは人と人との関わり、つながりではないのでしょうか。「鳥は空に、魚は水に、人は社会に」という言葉があるように、人は人と関わりながら成長していくものです。そして、その役割を果たしていく一つが子ども会活動ではないのでしょうか。小・中学校時代の人として大切な成長段階の時に、社会性、人間性を育む豊かな体験や、学校や地域、子ども会という集団活動の場でなければ学べないことがあるはずで、ぜひ、これからは新しい生活様式の中でもface to faceでの「体験」と「対話」を大切にしたい子ども会活動を展開していく、そして子どもたちの「居場所づくり」「絆づくり」を進め、自己有用感、思いやりの心、ふるさとへの思いを育て、地域に貢献できる人になってほしいと思います。これからは本当に必要なもの、価値のある活動は何か、そしてどのように仕組んでいけばいいのかを、みんなで知恵とアイデアを出し合い、考えていく時なのかもしれません。

今後とも、子どもたちが未来に向かってたくましく成長でき、そして自ら体験し、考える力と生きる力を育むことができる子ども会活動を展開して下さるよう、お願い申し上げます。

山形市子ども会育成連合会

【総会報告】

日時：令和六年五月十一日(土)
場所：山形国際ホテル

令和六年度山形市子ども会育成連合会の総会を五月十一日(土)、山形国際ホテルにおいて開催しました。

ご来賓の方々を代表し、山形市長佐藤孝弘様よりご祝辞をいただきました。

議事では、令和五年度の事業報告および令和六年度の事業計画等の説明があり、議案についてはすべて承認されました。

総案に引き続き、育成功労者の表彰があり、次の個人が表彰されました。

【山形市子ども会育成連合会会長表彰】 ◆育成者の部（十名）

学 区 名									
高瀬	第三	宮浦	第九	金井	西山形	桜田	桜田	第八	村木沢
氏 名									
海谷久悦	大原正樹	林博男	荒井竜	渡邊いづみ	後藤美鈴	渡邊貴子	鳴瀬千夏	間木野睦	土田広幸

令和六年度 山形市子ども会育成連合会常任委員名簿

期間 令和6年5月総会～令和7年5月総会まで

会長 佐藤 博之(第六)

副会長 齋藤 勲(第五) 安達 恭一(鈴川) 柴田専太郎(鈴川)
 小笠原知美(大曾根) 小林 一善(南) 前田 浩一(南沼原)
 古瀬 雄大(南沼原)

ブロック長
 中央北部 我妻 大介(第四) 中央南部 川元清一郎(第十)
 東部 鹿野 直人(鈴川) 北部 長内 幸樹(出羽)
 西部 永盛 善博(南山形) 南部 石山 稿二(南沼原)

レクリエーション安全部
 部長 川元清一郎(第十) 副部长 我妻 大介(第四)
 飛塚 智美(第九) 日下部陽子(第九) 渡部 俊雄(第六)
 柴田専太郎(鈴川) 海谷 久悦(高瀬) 鍵水 康晃(高瀬)
 石澤健太郎(金井) 土屋 洋平(大曾根) 西館 潔光(桜田)
 豊川 剛(第六)

リーダー研修部
 部長 長内 幸樹(出羽) 副部长 永盛 善博(南山形)
 大原 正樹(第三) 宇野 泰寛(第三) 吉田 優花(第二)
 山口 真(第二) 齋藤 勲(第五) 前田 英樹(第八)
 小林 一善(南) 尾形 俊樹(楯山) 土田 隆文(高瀬)
 進藤 悠二(大郷) 加藤 亨貴(村木沢)

文化部
 部長 亀井 千夏(南沼原) 副部长 鹿野 直人(鈴川)
 高橋 和宏(第七) 吉田 暢子(西) 八俣 卓(南)
 小川 浩幸(南) 今井 隆裕(南) 鈴木 拓也(東沢)
 謝花 齐(東) 林 博男(宮浦) 遠藤 政幸(千歳)
 佐藤 拓道(蔵王) 前田 浩一(南沼原) 鈴木 健史(宮浦)

事務局(幹事)
 幹事長 伊藤 健二(第九)
 正庶務 佐藤 拓道(蔵王)
 副庶務 宇野 泰寛(第三) 副庶務 狩野 正昭(鈴川)
 正会計 石澤健太郎(金井) 副会計 謝花 齐(東)
 正表彰・会場 鈴木 拓也(東沢) 副表彰・会場 鈴木 健史(宮浦)

監事 齋藤 勲(第五) 鍵水 康晃(高瀬) 西館 潔光(桜田)

第66回山形市子ども会育成連合会 夏の競技大会

第八回かけっこリレー・駅伝大会

種目	順位	チーム名	学区名	タイム
駅伝	1	あかしや駅伝チーム	第九	8'42
	2	南・第九合同チーム	南・第九	9'25
	3	城西二区子ども会駅伝チーム	第七	9'40
男女1・2年生	1	城西二区子ども会・男子	第七	1'25
	2	合同チームA	第九・千歳	1'24
	3	合同チームB	第九・宮浦	1'27
女子3・4年生	1	城西二区子ども会4年女子	第七	1'14
	2	合同チームC	第九・第四	1'15
	3	城西二区子ども会3年女子①	第七	1'22
男子3・4年生	1	あかしやA	第九	1'09"33
	2	かがやきチーム2	第四	1'11"79
	3	合同チームD	鈴川・宮浦・大曾根	1'13"26
女子5・6年生	1	南・高学年女子チーム	南	1'03
	2	ひまわり学年女子チーム	第四	1'05
	3	城西二区子ども会	第七	1'12
男子5・6年生	1	あかしやC	第九	1'04
	2	南・高学年混合チーム	南	1'10
	3	合同チームE	第九・南・大曾根	1'12

八月十七日(土)、ネットスエがおフィールドにおいて、第六十六回山形市子ども会育成連合会夏の競技大会・第八回かけっこリレー・駅伝大会が開催されました。

市内の八学区から駅伝三チーム十八名、四〇〇mリレー二十一名、チーム八十四名、総勢一〇二名(重複エントリーあり)の選手が参加しました。

開会式では、南学区の寒河江眺大さんと南学区の村上葉月さんの力強い選手宣誓を皮切りに、関係者、保護者の方々、チームのメンバーからの熱い声援を受け、大会がスタートしました。そして、駅伝と一二年、三四年、五六年ごとの四〇〇メートルリレーが行われました。大会当日は厳しい暑さのため駅伝の走る距離が一人八〇〇mから四〇〇mに変更になるなど熱中症対策を取りながらの開催となりました。暑い中ではありましたが、子ども達の全力の戦いとたくさんの笑顔で大変盛り上がり大会となりました。この大会を準備・応援して下さった方々、関係者の皆様の協力と保護者の方々の熱い声援があったからこそ、この大会が大成功に終わることができたのだと思います。この大会が来年以降もさらに盛り上がり、子ども達の笑顔が増えていくことを願っております。

各競技の結果は次のとおりです。大会を応援してくださった保護者の皆さま、温かく子どもたちを見守ってくださった山形イブニングロータリークラブの皆さま、熱中症が心配される中、万全の準備・運営をして下さったレクリエーション安全部員の皆さま、大会に携わってくださった方々に心より感謝申し上げます。



山形イブニングロータリークラブ様より 「モルック」贈呈式

令和6年9月2日(月)山形イブニングロータリークラブ様より、「モルック」10セットを贈呈いただきました。

贈呈式では、山形イブニングロータリークラブ結城会長から、目録を贈呈いただき、引き続き、市子連佐藤会長よりお礼のご挨拶と市子連活動の紹介やこれまでの歴史について卓話いただきました。

山形イブニングロータリークラブ様の温かいご支援に感謝し、子どもから大人まで、幅広く有効活用させていただきます。

大変ありがとうございました。



山形イブニングロータリークラブ会長 結城佳紀様（右）、
山形市子ども会育成連合会会長 佐藤博之様（中央）、
副会長 前田浩一様（左）

「モルック」無料貸出します

今回贈呈いただいたものを含め、市子連で所有している「モルック」15セットは、山形市内の単位子ども会、地区連合会、PTAなどにも無料で貸し出していますので、モルック大会等を企画される場合は、各学区長を通してお気軽にお問い合わせください。



編集後記 「かがやく瞳第51号」をご覧くださいありがとうございます。ごさいます。

取材を通して、仲間とともに頑張る子どもたちの、笑顔あふれる姿を見ることができうれしく思います。また、かがやく瞳が子ども育成連合会の活動を知るきっかけとなれば幸いです。

今回ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

文化部長 亀井 千夏



編集委員 会長 佐藤博之（第六）・副会長 安達恭一（鈴川）・部長 亀井千夏（南沼原）・副部長 鹿野直人（鈴川）
高橋和宏（第七）・遠藤政幸（千歳）・前田浩一（南沼原）・鈴木健史（宮浦）・林 博男（宮浦）